



2021年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長 (氏名) 富山 英朗

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	8,677	7.8	1,060	5.7	1,001	29.0	664	30.6
2020年6月期第2四半期	9,409	2.1	1,125	23.3	1,410	11.4	958	14.3

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 818百万円 (18.4%) 2020年6月期第2四半期 1,002百万円 (32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	230.60	
2020年6月期第2四半期	332.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	38,603	31,913	82.7
2020年6月期	38,204	31,962	83.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 31,913百万円 2020年6月期 31,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		300.00	300.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	2.9	2,400	29.9	2,500	9.7	1,700	6.0	589.67
	~17,500	~△5.2	~1,950	~5.6	~2,050	~△10.1	~1,400	~△12.7	~485.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年6月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動への影響は依然として不透明であり、信頼性の高い数値を的確に算出することが困難であることから、連結業績予想をレンジ形式により開示しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期2Q	3,230,701 株	2020年6月期	3,230,701 株
期末自己株式数	2021年6月期2Q	347,711 株	2020年6月期	347,710 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期2Q	2,882,990 株	2020年6月期2Q	2,883,030 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大によって引き続き経済活動が停滞し、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の到来により、依然として新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たず不透明な状況で推移いたしました。

ワークウェア業界におきましても、先行きの不透明感から、ユーザー企業様が設備投資・経費支出に保守的になり、企業ユニフォーム更新の延期や、発注数量の絞り込みといった動きがみられ、新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、ワークウェア事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛により当社及び当社販売代理店様の営業活動が制限される中、当社ホームページに掲載した電子カタログを積極的にPRし、当社販売代理店様のリモート営業を強力にサポートしてまいりました。またユーザー様のニーズに沿った高機能でデザイン性の高い新商品を積極的に市場に投入し、需要の喚起に努めてまいりました。基幹ブランド「JICHODO(ジチョウドウ)」においては、販売代理店様を通じて受注強化に努めたものの、企業ユニフォーム更新の延期や発注数量の減少などにより法人需要が苦戦いたしました。一方、若いユーザーをターゲットにした次世代戦略ブランド「Jawin(ジャウィン)」においては、コンプレッションを中心に一部商品を市場価格にあわせて価格改訂したことが功を奏し、好調に推移いたしました。世界戦略ブランド「Z-DRAGON(ジードラゴン)」においては、「カッコいい」、価格訴求力のある商品が、若い世代を中心とした幅広い世代に支持され、大きく売上を伸ばしました。熱中症対策商品の電動ファン付ウェア「空調服」においては、「JICHODO(ジチョウドウ)」、「Jawin(ジャウィン)」、「Z-DRAGON(ジードラゴン)」の主要3ブランドでそれぞれのブランドコンセプトに則した商品を展開することにより、各ユーザー様の職場環境や用途にあわせて商品を選択できることが機能面とともに評価され、順調に売上が拡大しました。フットウェア分野においては、機能性とデザイン性を兼ね備えたセーフティシューズに加えて、新たに高機能・低価格な長靴を展開し、新市場の開拓による、売上・利益の拡大に注力してまいりました。医療用白衣・介護ウェア分野においては、価格訴求力のある当社の医療・介護ウェアブランド「WHISeL(ホワイセル)」が、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が拡大している医療現場で高く評価され、大幅に売上が拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、「Jawin(ジャウィン)」、「Z-DRAGON(ジードラゴン)」、「空調服」は個人需要を中心に売上が拡大し、医療用白衣やセーフティシューズも新型コロナウイルス感染拡大防止対策の関連商品として大きく売上を伸ばしているものの、経済活動の停滞により企業ユニフォームの受注が苦戦したことなどにより、売上高は8,677百万円(前年同四半期比7.8%減)となりました。営業利益については、将来を見据え中長期的に物流の生産性・効率性を向上させ物流経費の削減を図るため倉庫を新設したことの影響などにより、1,060百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。経常利益は、当第2四半期連結累計期間において輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価損を計上したことと、前年同四半期において有価証券売却益150百万円を計上していたことなどにより1,001百万円(前年同四半期比29.0%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益664百万円(前年同四半期比30.6%減)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ398百万円増加し、38,603百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ442百万円減少し、27,962百万円となりました。これは主に、現金及び預金金が2,068百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が846百万円、商品及び製品が1,478百万円、原材料及び貯蔵品が286百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ841百万円増加し、10,641百万円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が695百万円、投資有価証券が223百万円、増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ438百万円増加し、5,482百万円となりました。これは主に、流動負債その他が1,048百万円増加したことと、賞与引当金が104百万円、短期借入金金が450百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、1,207百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、31,913百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が159百万円増加したことと、利益剰余金が201百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度より2,068百万円増加し、5,568百万円(前連結会計年度比59.1%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3,528百万円(前年同期は980百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益997百万円、デリバティブ評価損127百万円、売上債権の減少846百万円、たな卸資産の減少1,764百万円等による増加と、賞与引当金の減少104百万円、法人税等の支払額260百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は143百万円(前年同期は151百万円の獲得)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,316百万円(前年同期は672百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純減額450百万円、配当金の支払額864百万円等による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、ワクチン接種の開始により新型コロナウイルス感染症の収束が期待されるものの、ワクチン接種の効果が現れる時期が不明確なことや、2021年1月に発令された緊急事態宣言の経済活動・社会活動に与える影響により、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。一方、ワークウェア業界においては、コロナ禍において各ユーザー企業様が新常态・ニューノーマルへの対応を進める中で、停滞していた企業ユニフォームの更新需要も回復の兆しが見え始めております。

このような環境の中、当社においては、春夏商戦に向けて高機能でデザイン性の高い新商品を積極的に展開し、需要の喚起に努めるとともに、2021年2月に当社ホームページに開設したVR(バーチャルリアリティー)展示会と新商品説明動画を積極的にPRし、コロナ禍における当社販売代理店様の営業活動のサポートを継続してまいります。更には、戦略的に積み増した豊富な在庫を武器に積極的な営業活動を展開してまいります。また、物流経費をはじめとして全社的に経費削減を進め、利益の確保に努めてまいります。

以上のような活動を推進してまいります。新型コロナウイルス感染症の収束の時期が見通せないことなどから、通期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日発表の、2021年6月期通期のレンジ形式での連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,516,533	5,584,745
受取手形及び売掛金	5,079,984	4,233,123
商品及び製品	17,646,423	16,168,034
仕掛品	4,598	5,105
原材料及び貯蔵品	1,902,575	1,616,215
その他	259,666	357,733
貸倒引当金	△4,799	△2,771
流動資産合計	28,404,982	27,962,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,502,136	2,197,567
土地	4,464,565	4,483,087
その他 (純額)	133,028	130,002
有形固定資産合計	6,099,731	6,810,658
無形固定資産	92,940	73,730
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883,934	2,107,822
関係会社出資金	109,193	108,043
繰延税金資産	245,489	152,671
その他	1,420,326	1,440,133
貸倒引当金	△51,988	△52,039
投資その他の資産合計	3,606,955	3,756,632
固定資産合計	9,799,627	10,641,020
資産合計	38,204,609	38,603,206

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,694,720	1,640,988
短期借入金	2,500,000	2,050,000
未払金	257,938	179,277
未払法人税等	258,518	341,091
返品調整引当金	51,692	45,679
賞与引当金	125,160	20,846
その他	156,286	1,204,817
流動負債合計	5,044,316	5,482,701
固定負債		
退職給付に係る負債	555,679	561,148
その他	642,603	645,882
固定負債合計	1,198,282	1,207,031
負債合計	6,242,598	6,689,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,828,530	1,828,530
利益剰余金	28,351,035	28,149,135
自己株式	△1,717,227	△1,717,233
株主資本合計	31,444,837	31,242,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,556	657,558
為替換算調整勘定	△6,043	△9,109
退職給付に係る調整累計額	24,660	22,093
その他の包括利益累計額合計	517,173	670,542
純資産合計	31,962,010	31,913,474
負債純資産合計	38,204,609	38,603,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	9,409,808	8,677,959
売上原価	6,535,190	5,916,403
売上総利益	2,874,618	2,761,556
販売費及び一般管理費	1,749,302	1,700,732
営業利益	1,125,316	1,060,824
営業外収益		
受取利息及び配当金	35,706	33,402
為替差益	16,099	—
有価証券売却益	150,518	—
受取賃貸料	40,044	37,404
デリバティブ評価益	30,852	—
その他	38,538	22,053
営業外収益合計	311,760	92,860
営業外費用		
支払利息	1,531	3,837
賃貸収入原価	18,210	16,136
為替差損	—	4,424
デリバティブ評価損	—	127,316
その他	6,377	—
営業外費用合計	26,119	151,715
経常利益	1,410,956	1,001,969
特別利益		
固定資産売却益	—	16
特別利益合計	—	16
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	4,536
特別損失合計	0	4,536
税金等調整前四半期純利益	1,410,956	997,450
法人税、住民税及び事業税	396,938	310,047
法人税等調整額	55,400	22,595
法人税等合計	452,339	332,643
四半期純利益	958,617	664,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	958,617	664,806

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	958,617	664,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,360	159,002
為替換算調整勘定	△8,025	△3,066
退職給付に係る調整額	△3,190	△2,566
その他の包括利益合計	44,144	153,369
四半期包括利益	1,002,762	818,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002,762	818,176

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,410,956	997,450
減価償却費	64,284	88,944
のれん償却額	15,310	15,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,607	△1,976
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△114,487	△104,314
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△12,091	△6,012
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	582	1,775
受取利息及び受取配当金	△35,706	△33,402
支払利息	1,531	3,837
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,536
デリバティブ評価損益 (△は益)	△30,852	127,316
売上債権の増減額 (△は増加)	964,366	846,861
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△795,117	1,764,241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,274,842	△53,732
その他	271,956	109,183
小計	△538,717	3,760,019
利息及び配当金の受取額	35,162	33,402
利息の支払額	△1,531	△3,837
法人税等の支払額	△474,964	△260,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	△980,050	3,528,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,480	△2,480
定期預金の払戻による収入	2,480	2,480
有形固定資産の取得による支出	△26,554	△40,971
投資有価証券の売却による収入	293,171	—
その他	△114,767	△102,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	151,849	△143,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,540,000	△450,000
自己株式の取得による支出	△294	△5
配当金の支払額	△865,069	△864,745
リース債務の返済による支出	△1,916	△1,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	672,720	△1,316,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	386	△745
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155,094	2,068,212
現金及び現金同等物の期首残高	1,942,679	3,499,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,787,584	5,568,066

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。